

小田北野球部だより ODAKITA AMAGASAKI

総合体育大会開催

前瀧校長先生の始球式ではじまった総体。



小田北野球部の初戦は大庄北。
2回戦、大庄北との一戦。少し緊張気味の様子の選手たち……。

初回、点を許し先制点を献上してしまいましたが、その裏、相手のミスを見逃さず、逆転！
その後はエース直樹は尻上がりに好調なピッチングで最終回ヒットは許すもののきっちり、押さえてくれました



三回戦 VS 啓明

阪神大会出場の切符をかけた一線です。
投手戦となった一線は0対0のまま延長戦へ突入。
ノーアウト満塁からのスタート。8回先行の小田北は点が取れず、陰湿なムードに……。しかし、練習に練習を重ねた満塁シフト。けん制でランナー二人を殺し、0点に。
9回ヒットと犠牲フライで2点先制するも、その裏、ミスが重なり3点入れられ悔しい試合となりました。

今年は尼崎大会枠の5位をかけてのVS大庄戦
この試合は相手ミスからポンポンと点が入り、
5回7-0でコールド勝ち
5位決定戦へ。



5位決定戦の相手はこの春、市民スポーツ祭で優勝の立花中学。
スタメン選手全員が身体能力の高いバランスのとれた全国レベルのチームです。
そんなチームを前日のビデオリサーチで小田北の選手たちは「大丈夫や！絶対勝てる！」と自信を持って決定戦に備えました。



そして、勝てば阪神大会。負ければ終わりのこの試合が始まりました。

先行の小田北はツーアウトから3番木森くんのツーベース、4番笹原くんのタイムリーで1点を先制し、リズムも流れも小田北のペース。
しかし、その裏、不運な判定で流れが変わり3点を献上する形になった。
それでも選手たちは集中力を切らさず、1回以外は点を与えない杉浦くんの完璧なピッチング。

最終回、荒木くんがレフト前にヒットで出るとこの大会、絶好調2番伊尾木くんが右中間を破るツーベースで同点に……。そして本日、2安打の木森くん！
長打が出れば逆転のチャンス。ツーストライク追い込まれるも、勝負をかけたストレートをジャストミート！センター前に逆転タイムリー！
逆転のランナー伊尾木くんがホームイン！

そしてあとはしっかり守るのみ。
山口ID野球の守備シフトで見事、センターフライで今井くんが1アウト。
次の打者もキャッチャーフライで杉浦くんが力で押さえ、あとひとり……。
打席にむかう最後のバッターの目には涙。
それでもしっかり捕らえたあたりは通常ならセンターオーバー。
しかし、山口ID野球では今井くんの正面。しっかりキャッチしてゲームセット！

「野球はツーアウトから」 ホントに見せてくれた試合でした。

昨年、夏からいろんな事があった。
しかし、みんなで乗り越えてきた。
すべては今日のこの試合のための試練かもしれない。



信じ耐え抜け！

